【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和6年3月1日(2024.3.1)

【国際公開番号】WO2023/181751
【出願番号】特願2023-544427(P2023-544427)
【国際特許分類】
H01M 50/342(2021.01)
H01M 50/236(2021.01)
H01M 50/367(2021.01)
H01M 50/35(2021.01)
H01M 50/209(2021.01)
H01M 50/204(2021.01)
H01M 10/658(2014.01)
H01M 10/613(2014.01)
H01M 10/625(2014.01)
【FI】
H01M 50/342201
H01M 50/236
H01M 50/367
H01M 50/35 201
H01M 50/209
H01M 50/204401H
H01M 10/658
H01M 10/613
H01M 10/625

【手続補正書】
【提出日】令和5年6月30日(2023.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ロアケースと、
前記ロアケースの上に被さるように設けられ、当該ロアケースとの間に電池モジュールを収納する密閉空間を形成するアッパーケースと、
を有し、前記アッパーケースの剛性がその部位によって異なっており、その剛性が他所と比較して相対的に低い部位に、前記密閉空間の内圧が高まった際にその内圧を開放する圧力開放部が形成され、
前記アッパーケースの前記密閉空間に臨む面に、前記電池モジュールから前記アッパーケースへの熱移動を抑制する遮熱板が部分的に設けられており、前記アッパーケースの剛性が、当該遮熱板が設けられた部位で高く、設けられていない部位で低くなっている
電池パックの圧力開放構造。
【請求項２】
前記電池モジュールにその内圧が高まった際にその内圧を開放する排出口が形成されており、前記排出口から放出されたガスを当該排出口から前記圧力開放部に向かって誘導するように構成されたガス誘導部を有する請求項１に記載の電池パックの圧力開放構造。

【請求項３】
ロアケースと、
前記ロアケースの上に被さるように設けられ、当該ロアケースとの間に電池モジュールを収納する密閉空間を形成するアッパーケースと、
を有し、前記アッパーケースの剛性がその部位によって異なっており、その剛性が他所と比較して相対的に低い部位に、前記密閉空間の内圧が高まった際にその内圧を開放する圧力開放部が形成され、
前記電池モジュールにその内圧が高まった際にその内圧を開放する排出口が形成されており、前記排出口から放出されたガスを当該排出口から前記圧力開放部に向かって誘導するように構成されたガス誘導部を有し、
前記ガス誘導部が、前記アッパーケースの前記密閉空間に臨む面に設けられている
電池パックの圧力開放構造。
【請求項４】
（削除）
【請求項５】
ロアケースと、
前記ロアケースの上に被さるように設けられ、当該ロアケースとの間に電池モジュールを収納する密閉空間を形成するアッパーケースと、
を有し、前記アッパーケースの剛性がその部位によって異なっており、その剛性が他所と比較して相対的に低い部位に、前記密閉空間の内圧が高まった際にその内圧を開放する圧力開放部が形成され、
前記電池モジュールにその内圧が高まった際にその内圧を開放する排出口が形成されており、前記排出口から放出されたガスを当該排出口から前記圧力開放部に向かって誘導するように構成されたガス誘導部を有し、
前記アッパーケースの前記密閉空間に臨む面に、前記電池モジュールから前記アッパーケースへの熱移動を抑制する遮熱板が部分的に設けられており、前記アッパーケースの剛性が、当該遮熱板が設けられた部位で高く、設けられていない部位で低くなっており、
前記遮熱板と前記ガス誘導部が一部材で構成されており、前記アッパーケースと前記遮熱板との間に、前記電池モジュールから前記アッパーケースへの熱移動を抑制する断熱空間が形成されている
電池パックの圧力開放構造。